

# 職業ナビ

第13回

## ツアーコンダクター

Q

「ツアーコンダクター」ってどんな仕事？

みなさんは、旅行が好きですか？ 今回は、旅先で旅行案内をする仕事であるツアーコンダクターを紹介しします。

ツアーコンダクターってどんな仕事？

ツアーコンダクターとは、ツアー添乗員または旅程管理主任者とも呼ばれる職業のことで、旅行会社が主催する団体旅行（パッケージツアー）に同行し、旅行ガイド、病気や盗難といったトラブルのフォロー、宿泊先との交渉などを行うのが主な仕事内容です。旅行代理店に勤務する場合と、ツアーコンダクター専門の派遣会社に登録する場合があります。海外添乗の場合、一般旅程管理主任者の資格が必要です。また、空港やホテルでの不慮の事態に対応できる英語の能力が必要です。最低でも英検2級程度の英語力と、さらにもう一つの外国語を話せることが理想的です。派遣の場合、収入は日当制で経験に応じて日当は上がっていきます。また、実際の業務内容は突発的に発生する問題を解決する実務能力と知識、団体旅行の責任者としてのリーダーシップ能力、そして何よりも体力が必要となってきます。

給料はどれくらいもらえるの？

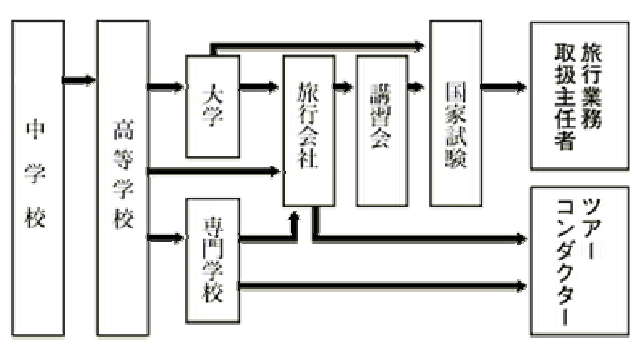
現在、ほとんどの旅行会社が正社員ではなく、派遣添乗員を活用しています。派遣添乗員の収入は、固定給ではなく、添乗日当×日数で計算されるためかなり不安定です。3～5年の経験者でも年収200～300

0万円程度というのが実情です。添乗日当は、派遣先や経験などによって異なりますが、平均すると国内で9000円程度、海外で1万3000円程度です。

1 ツアーコンダクターになるには、ペリカン社より p.99～p.124  
2 日本添乗員サービス協会HPより

どうしたらなるの？

旅行会社が主催・企画する旅行に、主任添乗員として同行するためには、旅程管理主任者（国内・総合）の資格を取得している必要があります。ただし、この資格を得るためには、通常、旅行会社や添乗員派遣会社などに所属し、一定の実務経験を積んでおく必要があるため、まずはこうした会社に就職しなければなりません。そのため、観光についての専門知識や英会話能力などを磨く必要があります。



【参考】  
・13歳のハローワーク (http://www.13hw.com/job/04\_01\_01-a.html)  
・中学生のための仕事発見ガイド (美業之日本社) (http://www.j-n.co.jp/kyouiku/yume/01\_hakken/jobs/suakon.html)

今回でこの「職業ナビ」のコーナーは最終回です。昨年度号からいくつかの職業を紹介してきました。みんなの将来の夢探しの参考になったかな？ さて、次号からは、この「職業ナビ」のコーナーを、パワーアップした新コーナー「ぼくたち・わたしたちのハローワーク」が始まります。お楽しみに！！

## 歌劇「ルスランとリュドミラ」序曲



ミハイル・グリンカ

みなさんは、グリンカという人の名前を聞いたことがありますか。ロシアの作曲家です。ロシアの作曲家といえばチャイコフスキーとかムソルグスキーの名前をよく聞きますが、グリンカの名前は知らない人が多いでしょうね。ミハイル・グリンカは「ロシア国民学派の父」と呼ばれています。チャイコフスキーやムソルグスキーの大先輩になります。そんな人なのに名前も作品も知らないなんて。でも無理もないです。グリンカの作品で演奏されるのは1曲くらいしかありませんから。それが歌劇「ルスランとリュドミラ」序曲です。

じつは、私はこのオペラを聞いたことがありません。でも、このオペラの序曲は最高です！

今から何十年か前、私が中学生か高校生のころです。テレビでソ連（現在のロシア）のオーケストラの来日公演を放映していました。他に何を演奏していたか忘れてしまいましたが、アンコールで演奏されたのがこの曲です。今でもその時の演奏と映像を覚えています。拍手の中登場してきた指揮者が指揮台に立ちオーケストラの方を振り向いた瞬間、それまでまじめな表情だったそのおじさん（失礼！この人、ゲンナジー・ロジェストベンスキーという有名な指揮者）は満面の笑顔になったのです。それがまた優しさにあふれた素敵なお笑顔！！ さっと長い指揮棒を振り回して始まったのがこの「ルスランとリュドミラ」序曲でした。聞こえてきた曲はオーケストラの魅力をいっぱい感じさせる楽しいもので、いっぺんにこの曲のファンになりました。



ロジェストベンスキーさん

### お勧めポイント

演奏時間が5分程の短い曲なので、曲の始まりから終わりまで全てが聞きどころです。でも、あえていえば次のところですね。

- 1 曲の始まり、ティンパニーと管楽器がいっせいにリズムを刻んだあと、弦楽器がすごいテクニックで追いかけて演奏するところ。ワクワク感にあふれています。
- 2 曲の中間、民謡風のメロディーを演奏したあと、曲の後半に向かうところ。ティンパニーの合図で弦楽器が猛スピードでメロディーを演奏し、そのあと一気にオーケストラ全体が盛り上がる場所。スピード感と高揚感が最高です。

この曲は躍動感にあふれるリズムと民謡風の親しみやすいメロディーで、オーケストラの魅力と迫力を最高に発揮しています。残暑を乗り切るには最高の曲です！ 元気出るよ！！

(手島)

